

プルサーマル公開討論会

主催 九州電力株式会社



玄海原子力発電所(東松浦郡玄海町)3号機で計画されているプルサーマルについての公開討論会(九州電力主催)が二月二十日、玄海町町民会館であった。計画をめくり賛否双方で議論する初めての機会。公募で選んだ地元住民と原子力の専門家らが、計画の安全性や経済性などについて、それぞれの立場から意見を交わした。

使用済み燃料から回収したプルトニウムとウランの混合酸化物(MOX)燃料を軽水炉で燃やすプルサーマル計画は、現在、国が安全審査中。審査終了後には地元玄海町と県が、住民や県民の「理解」を判断して事前了解願に対する決断を示すことになる。理解度を測る上で注目された公開討論会の議論を紹介する。